



2025年度
通期業績

2025年度 通期 業績

Core売上収益

4兆5,057億円

後発品による減収影響を受けたものの、成長製品・新製品の伸びが一部相殺

△**2.6%** 恒常為替レート
(CER) ベース

△**1.6%** 実勢レート
(AER) ベース

成長製品・新製品

51%

売上収益に占める割合
+4.5% (CERベース) で伸び、
売上収益全体の50%超を占めるまでに

Core営業利益

1兆1,725億円

△**0.9%**の減少 (CERベース)
+**0.8%**の増加 (AERベース)

効率化プログラムを通じた営業経費の節減により成長投資を行いつつCore営業利益を維持

財務ベース営業利益

4,088億円

+**19.3%**の増加 (AERベース)
償却費および事業構造再編費用の減少により財務ベース営業利益は増益

2026年度 通期業績見通し: 成長投資に注力する一年

マネジメントガイダンス: 成長加速に向け、将来の成長に寄与する投資を継続

Core売上収益

一桁台前半%の減少

Core営業利益

5%~8%の減少

Core EPS

10%台半ばの減少

Coreベースの業績予想

Core売上収益

4兆6,400億円

Core営業利益

1兆1,600億円

Core EPS

472円

先行する後期開発 パイプラインは 上市に向けて準備中

希少な血液がんの
1つを対象とした
治療薬候補の
第3相臨床試験で
良好な結果

上市予定：
2026年（下期）



ナルコレプシー
タイプ1を対象と
した治療薬候補の
2つの第3相臨床
試験で**良好な結果**

上市予定：
2026年（下期）



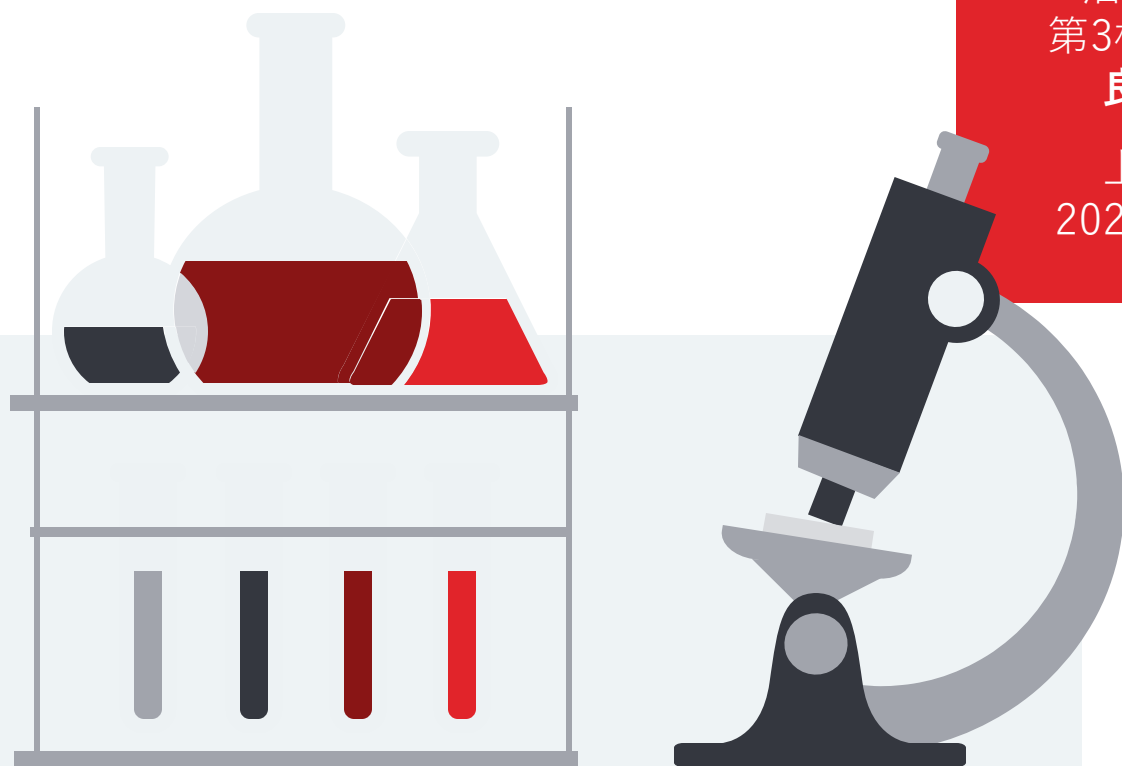
乾癬を対象とした
治療薬候補の
2つの第3相臨床
試験で**良好な結果**

上市予定：
2027年（上期）



今後12カ月の間に、これら3つの治療薬候補の上市を見込む態勢に

新たな成長局面へ向けて前進



新たな時代を創る

2つの成長段階 (Horizon)

Horizon 1：成長に向けた変革

競争力の強化と成長エンジンの構築

- 3つの上市成功を起点に新たな成長ドライバーを確立
- 重要な転換点を経て強固な後期開発パイプラインを推進
- 既存主力製品の収益基盤としての安定性と競争力を確保
- 組織能力の創出と効率化を実現する
トランスフォーメーション・プログラムを推進

Horizon 2：成長の加速

長期的な収益性向上と患者さんへの価値創出

- 初期の上市製品群の規模拡大を推進し売上収益を最大化
- 後期開発パイプラインから次の新製品群を上市
- 研究開発エンジンから新たな治療薬候補を継続的に創出
- 先進技術によりスピード・品質・効率性を向上

変革から成長加速へ



本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2025年度第4四半期業績の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CERベースの増減は、当期の国際会計基準（IFRS）に準拠した業績またはCore財務指標（Non-IFRS）について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績についてはCERベースの増減調整は行わないこととし、これら子会社に係るCERベースの増減はIAS第29号に基づいて算出しています。

Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2025年度第4四半期決算の投資家向けプレゼンテーション

(<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) の末尾にある財務補足情報を参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。